



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臼杵市で行った避難に関するサイン旗(赤旗・黄旗)確認訓練の映像を地域住民や関係機関と共有し、孤立対策の充実を図った。</li> <li>・災害発生時に円滑かつ迅速に罹災証明書を交付できるよう、市町村を対象に研修を実施し、被災者台帳支援システムの習熟を図った。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前からテレビCMやSNS等を活用し、「県民安全・安心メール」や「防災アプリ」の登録を呼びかけ、防災情報収集ツールの複数所持を促進した。</li> <li>・防災VR、啓発動画などの啓発ツールを活用し、防災情報の収集や的確な理解、早期避難の促進など防災知識・意識の向上を図った。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対応支援システムを活用した効率的な情報収集・共有等により迅速な応急対策へ繋がられるよう、R4年台風第14号等での対応を踏まえ、市町村や県関係各課とシステムの運用方法や改修項目等について検討し、改善を図った。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難促進施設(火口付近の集客施設)の指定基準の策定や九重山火山避難計画の改訂、関係機関との連携による鶴見岳火山防災訓練など、火山防災体制の構築を図った。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油コンビナート等災害防止法及び大分県石油コンビナート等防災計画に基づき、コンビナート火災等の発生時に、関係機関等が迅速かつ的確な対応ができるよう、実践を想定した図上訓練を実施した。</li> <li>・愛媛県と合同で原子力防災訓練を実施し、伊方発電所で事故が起きた際の各種対策の検証を行った。訓練では、伊方町からの住民避難受入れや漁業者を対象にした簡易除染、空間放射線量率の測定と結果伝達等を実践し、原子力防災に関する知識・技能を高めた。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①③	県庁防災体制強化事業	100.0	142
①	防災テクノロジー活用推進事業	200.0	142
②③	防災行動定着促進事業	129.2	143
④	火山防災対策推進事業	100.0	143
⑤	原子力防災対策推進事業	101.8	143

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県生活協同組合連合会からの令和4年度「県政への要望」(R4.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民や企業に対し、南海トラフ地震をはじめ今後想定される大規模災害等の啓発活動を強めるなど、防災・減災対策を早急に進めること。</li> </ul>
---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所等における災害情報の収集や伝達が、円滑に実施できるよう、市町村が行う機器等の整備に対し助成を行い、情報通信手段を確保する。</li> <li>・住民の「早期避難の習慣化」を図るため、メールや防災アプリに加え、防災VR、啓発動画などを活用し、防災知識・意識の向上に取り組む。</li> <li>・総合防災訓練を実施するとともに、災害時連絡体制合同研修会等を通じて市町村や関係機関との連携を図っていく。</li> <li>・火山防災協議会において火山防災対策の検討を引き続き行っていく。また、火山災害発生時の対応能力を向上するため、火山防災訓練を実施する。</li> <li>・県民や市町村の原子力防災に関する理解を深めるため、防災士や自主防災組織、ボランティア等を対象にした研修会を開催する。また、要員の習熟度を向上させ、実効性を高めるため、引き続き愛媛県等と共同で原子力防災訓練を実施する。</li> </ul>